

2012年

2月

3月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1 	2 	3 	4 					1 	2 	3
5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10
12 	13 	14 	15 	16 	17 	18 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
19 	20 	21 	22 	23 	24 	25 	18 	29 	20 	21 	22 	23 	24
26 	27 	28 	29 				25 	26 	27 	28 	29 	30 	31

0 教室のある日



ありの読書会……………10:00～12:30 参加費：300円
「どの子もよく生きようとしている」という人間観で教育から見直しています。

☺ 縁側の日……………10:30～12:00 参加費：300円
毎月第一木曜日になっています。

認知症に関心のある方、どなたでもどうぞ！

★ 研修会に参加するため、教室は、5時からになります。
宜しく願いいたします。

★ 教室のFAXの番号が変わっています。(電話番号はそのままです)
222-9077 ⇒ 226-3303

〒514-0821 三重県津市垂水 1200-7

☆豊吉晴子☆S.L.S.すぎな☆

Tel：059-222-9077

Fax：059-226-3303

E-mail：haru_sugina1044@wave.plala.or.jp

すぎな <http://www2.plala.or.jp/sugina/index.htm>

すぎなの風(フワ)：http://blog.goo.ne.jp/s_l_s_sugina/



オーロラなくとも収穫あり！

「オーロラを見に行ってきたーす！」とノルウェー（ Tromsø・北緯69度）まで行ったものの、私の滞在中にオーロラは現れず…家に帰ると「あなたが帰った夜、オーロラが出たよ」と写真が送られていました…タイミングよすぎ！！
でもね、予想外の素敵な時間がいっぱい、本当に行ってよかったです！

Tromsøの11月から1月は、太陽が地平線より上に昇らず、約2ヶ月間、太陽の姿を見ることができません。ところが、その姿なき輝きの神々しいこと！また、夕方かと思えば昼間の1時。「なーんだ、まだまだ時間ある！」の繰り返して、一日が長く感じました。

どの家の窓辺にも、街を照らすかのように明かりが常に灯されています。それが、オレンジ色で温かい。電気は全て水力発電で安いんですって。街には、おしゃれなデザインのろうそくや照明器具が並んでいます。当然夜景もオレンジ色で、町全体がほのぼのと光に包まれているのです。

帽子、マフラー、オーバー、ブーツでさっそうと歩く姿もかっこいい！！（捻挫をしていた私は滑らないように歩くので精一杯…^_^;) しかもにこやかです。

行く前の「寒い！暗い！」というイメージは、いつの間にか消えていました。

また、ほとんどの人が臨機応変にノルウェー語と英語を使い分けるのです。そして、とにかく、よく聞く。少々文法が違おうが、相手が何を言おうとしているかを「聞こう」という姿勢が身につけているかのようでした。

日本では、日本人とだけで、日本語だけでやり取りするのが普通ですから、よく聞きもせずわかった気になったり、「わかって当たり前、わからなければ問題」となりがちのように思います。

「わからない」が前提なら、「わからないから聞こう！」となるし、例えわからなくてももっと大らかにされるのでは？と思ったのですが…どうでしょう？



「やってみる！」 飛躍のときはやってくる

● できるのに、やろうとしないとき

「やってみなくちゃわからないじゃない！」
「どうしてできるのにやらないの？」

新しいこと、難しそうなことの前で止まってしま
う我が子を歯がゆく思ったことはありませんか？

教室でも、そういう場面によく出くわします。
それも、その子の「かべ」の一つだと思います。
「かべ」にぶつかったときこそ、絶好のチャンス！
だからと言って、無理に勧めてもダメですねえ。
背中を押しながらも、その子の気持ちに合わせて
見守っていると、少しずつ必ず前進していきます。
そして、こちらが思ってもいなかったような「と
き」が、やってくるのです。人によって、かかる時
間とプロセスは違いますが、誰にも来る！と言うの
が、私の実感です。

そうやって「自信」がつくのか、出てくるのか…
少なくともそういう体験の積み重ねが、変化につ
ながっていることは間違いないように思います。

今回は、Sちゃんのお話を紹介いたします。

● 合格しなくても、めげなくなった！

Sちゃんも「新しいこと」「苦手なこと」に出くわ
すと、とたんに立ち止まってしまう傾向が大いにあ
りました。

わり算の横式のプリント3-15~3-23でも、
少々手間取りました。

以前のSちゃんは、なかなか合格できないと、家で
やってくるプリントの枚数がぐっと減っていました。
ところが、今回は、少し休むだけで、自分で考えな
がら着実に合格してることができました。

つまり、以前のSちゃんと違ってきているのです。

さて、次は、3-24。これは、割り算の筆算で
すが、学校で習わない方法で、3-33まで続きます。

さあ、Sちゃんは、どうするでしょうか？

最初、Sちゃんはプリントを見て固まっていまし
た。しかし、しばらく問題を見てから言いました。

「やってみる！」

そして、3-24を見事一発合格しました。

それからは、合格したプリントも2・3枚練習し
ながら、進んできました。

● 気持ち受け止め前向きな提案

3-32。1枚目の結果は、目安12分のところ、
15分31秒・ミス4個。これは、めげるか…？
と思いきや、Sちゃんは、自分で「40問（80問
中）までならできる」と毎日やってきました。

来週は、私のノルウェー行きのため教室はお休み。
13日分を持って帰ります。

豊吉：Sちゃん、40問は7分でできているよ。
70問まででもできるんじゃない？

Sちゃん：いやー！無理！

豊吉：じゃあ、どこまでならできる？

Sちゃん：うーん、じゃあ…50まで。
で、50問までを2枚、60問までを4枚、
70問までを4枚、後は全部する。

おー、一気にはできない自分の気持ちを受け止め
つつの前向きな提案！こうして3-32も合格。

2週間ぶりの教室では…。

豊吉：3-33は、どこまでする？

Sちゃん：全部やる！（すばやい返答！）

この思いがけない「とき」に立ち会えるのが、私
の特権。しかも、一発合格だったんですよ。拍手!!